

# 平成 28 年度一般廃棄物処理事業の概要

岩手県では、県内の市町村及び特別地方公共団体（一部事務組合及び広域連合）に対して、「一般廃棄物処理事業実態調査（平成 28 年度実績）」を行いました。

この調査は、平成 28 年度一年間の実績又は平成 28 年度末（平成 29 年 3 月 31 日）現在におけるごみ・し尿の排出処理状況、廃棄物処理事業経費及び一般廃棄物処理施設の整備状況等について取りまとめたものです。

## こ み

### 1 ごみの排出・処理状況

#### (1) 県内のごみ排出の状況

ア 平成 28 年度における県内のごみ排出量は、430 千トンで、対前年度比で約 1 万 1 千トン減少した。この排出量は、東京ドームの 1.1 杯分、岩手県庁舎を枳に例えると 16.9 杯分に相当する。

（※ごみ総排出量＝市町村等による計画収集量＋施設への直接搬入量＋集団回収量）

（※東京ドームの容積 1,250 千m<sup>3</sup>、県庁容積 85 千m<sup>3</sup>、ごみの比重 0.3 トン/m<sup>3</sup> として算出）

イ 県民一人 1 日当たりのごみ排出量は 921 g で前年度の 933 g から 12 g 減少した。

なお、一年間に県民一人当たり 336 kg のごみを排出したこととなる。

ウ ごみ総排出量 430 千トンのうち、生活系ごみが 295 千トン（68.5%）、事業系ごみが 135 千トン（31.5%）であった。

（※生活系ごみは各家庭から排出されたごみ、事業系ごみはスーパーや事業所等から排出されたごみのこと。）

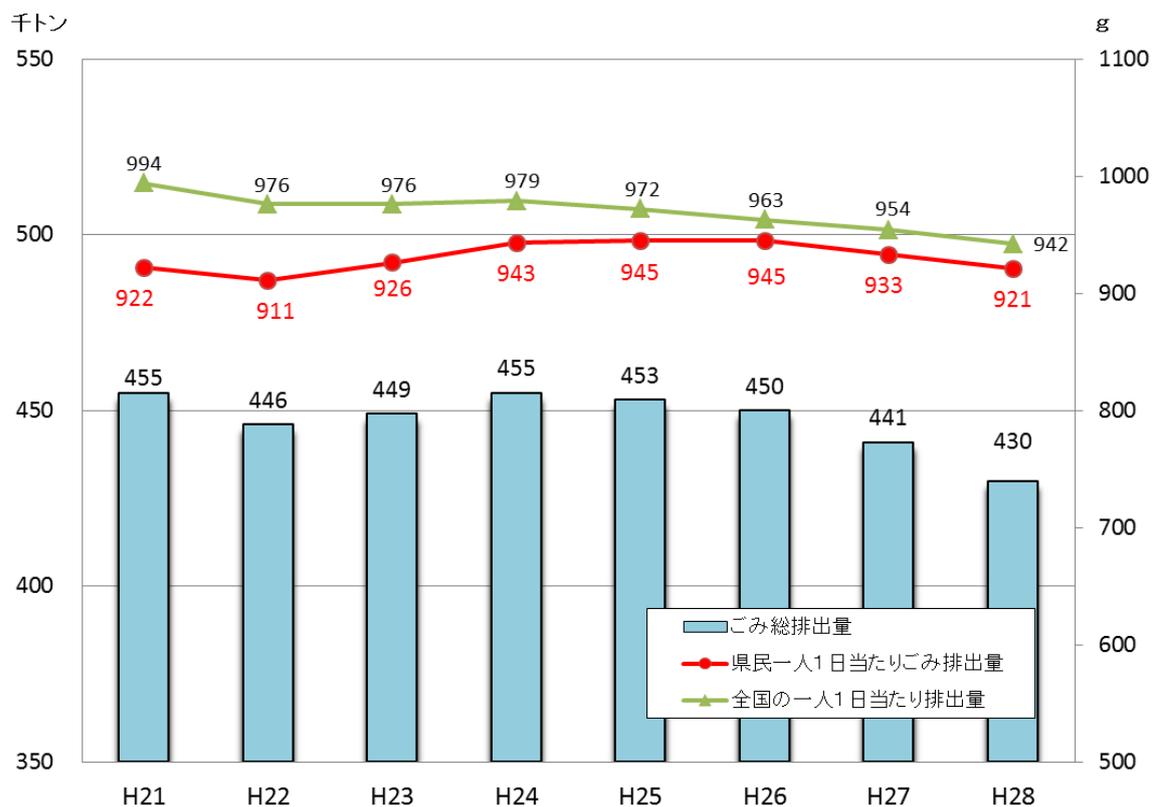
エ 生活系ごみ排出量は、平成 22 年度までは年々減少し、平成 23 年度に増加に転じたものの、平成 24 年度以降は 5 年連続で減少した。また、県民一人 1 日当たり生活系ごみ排出量は 631 g で、前年度の 641 g から 10 g 減少した。

なお、一年間に県民一人当たり 230 kg の生活系ごみを排出したこととなる。

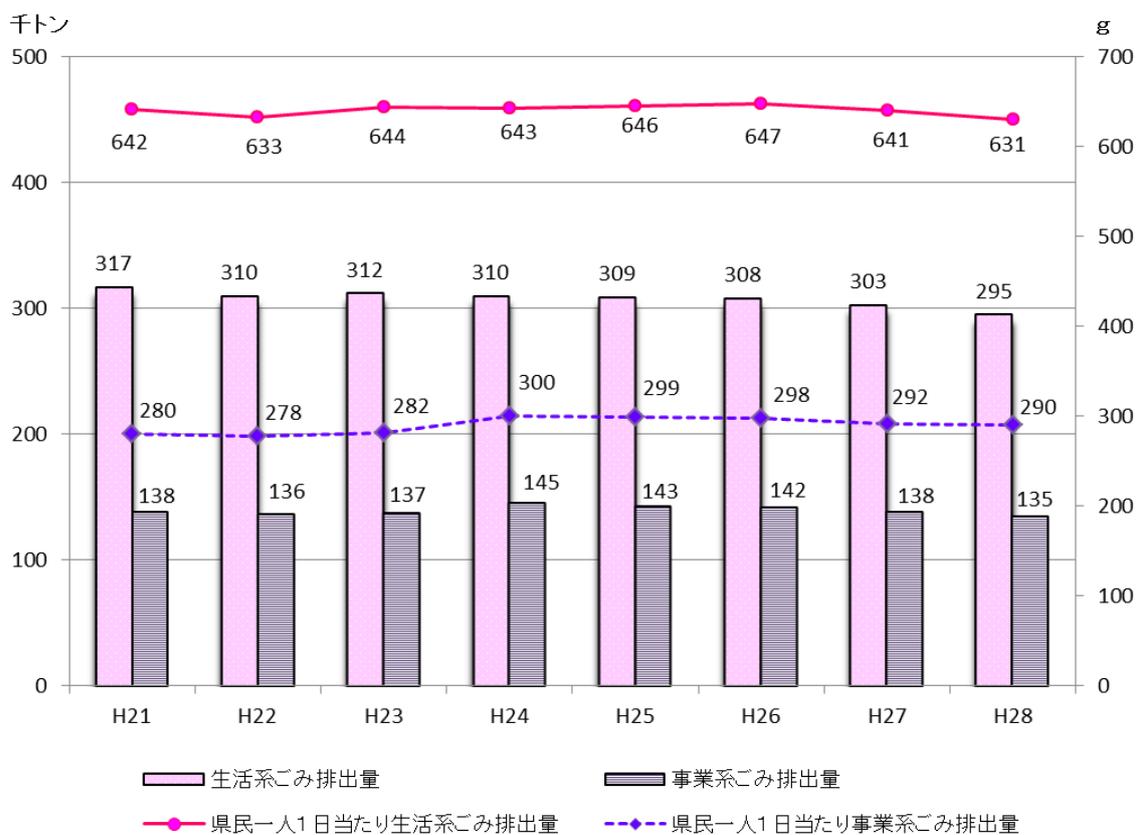
オ 事業系ごみは、平成 22 年度までは減少傾向で推移し、平成 23 年度に増加に転じ、平成 25 年度以降は徐々に減少傾向にある。

表－1 ごみ排出量の推移

項目	H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	実数	前年度比 (%)														
総人口(人)	1,353,183	99.2	1,342,291	99.2	1,325,147	98.7	1,321,598	99.7	1,312,383	99.3	1,302,923	99.3	1,291,352	99.1	1,279,875	99.1
ごみ排出量(t)	455,216	95.7	446,281	98.0	449,111	100.6	455,076	101.3	452,666	99.5	449,548	99.3	440,812	98.1	430,106	97.6
うち生活系ごみ(t)	316,941	95.8	310,078	97.8	312,345	100.7	310,311	99.3	309,321	99.7	307,892	99.5	302,791	98.3	294,613	97.3
うち事業系ごみ(t)	138,275	95.5	136,203	98.5	136,766	100.4	144,765	105.8	143,345	99.0	141,656	98.8	138,021	97.4	135,493	98.2
一人1日ごみ排出量(g)	922	96.5	911	98.8	926	101.6	943	101.8	945	100.2	945	100.0	933	98.7	921	98.7
うち生活系ごみ(g)	642	96.7	633	98.6	644	101.7	643	99.8	646	100.5	647	100.2	641	99.1	631	98.4
うち事業系ごみ(g)	280	96.2	278	99.3	282	101.4	300	106.4	299	99.7	298	99.7	292	98.0	290	99.3



図－１ ごみ排出量と県民一人1日当たり排出量の推移



図－２ 生活系ごみと事業系ごみの排出量の推移

カ 各市町村の一人1日当たり排出量の推移は、図-3(1)~(3)のとおり。

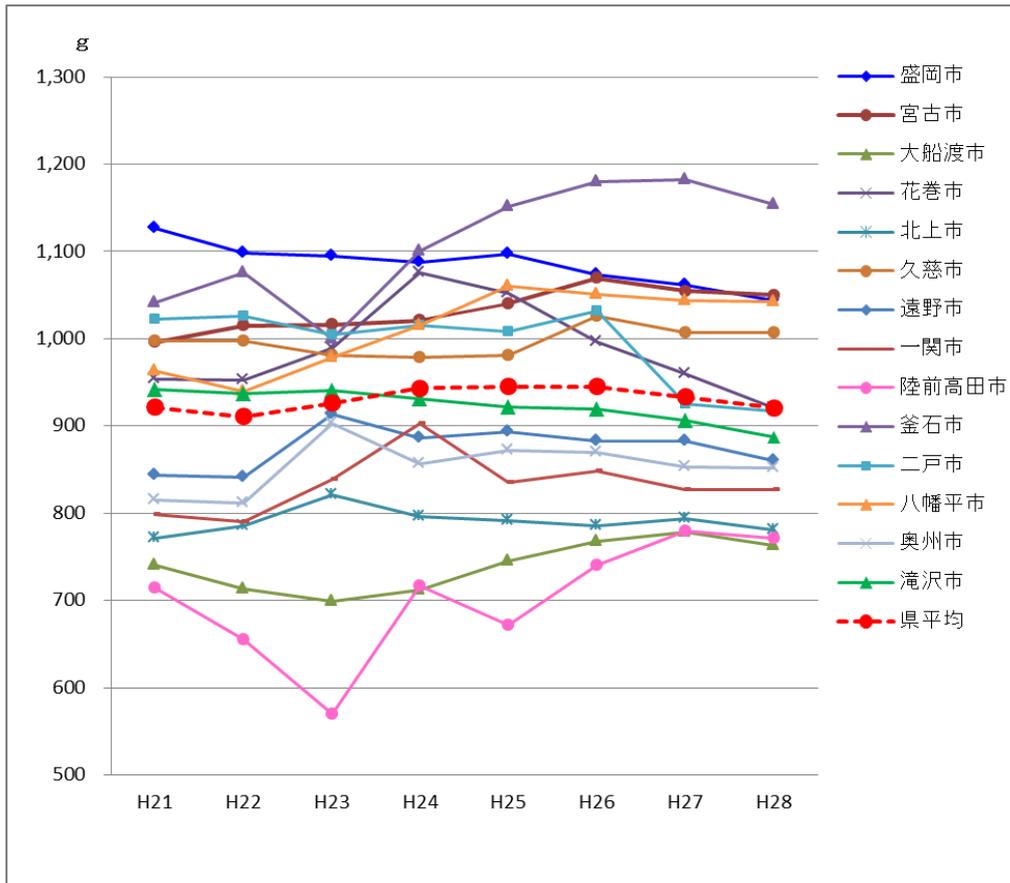


図-3(1) 市町村の一人1日当たり排出量の推移(市部)

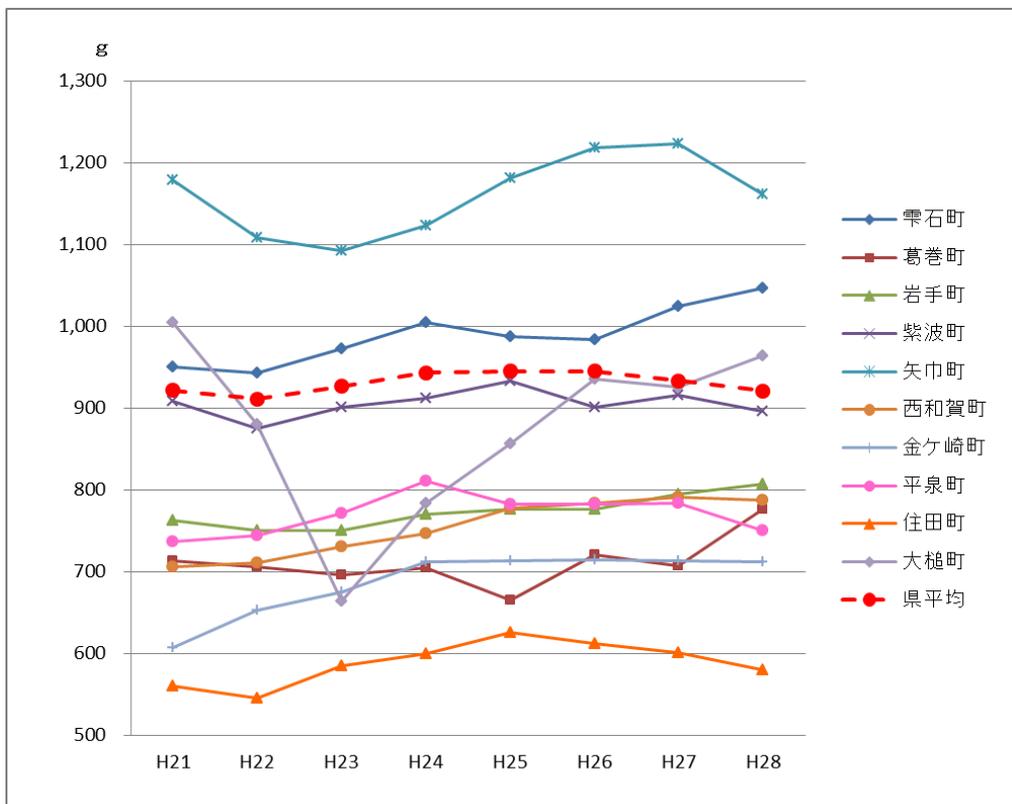


図-3(2) 市町村の一人1日当たり排出量の推移(町村部1)

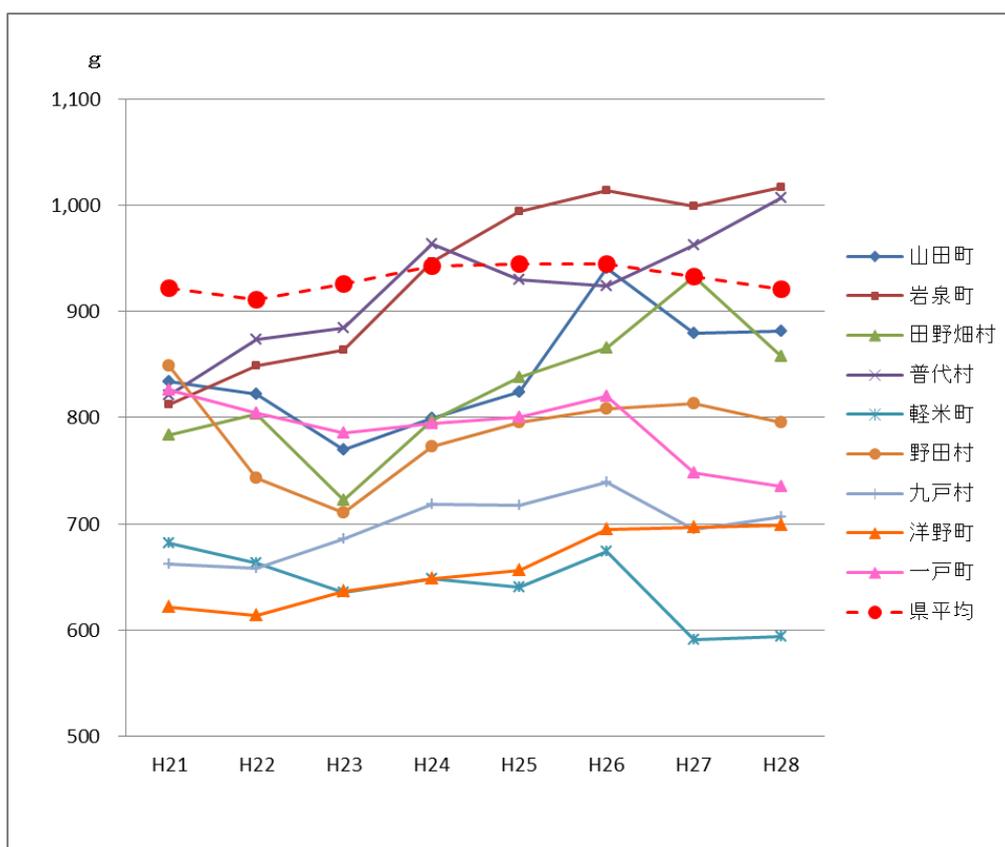


図-3(3) 市町村の一人1日当たり排出量の推移(町村部2)

表-2 各市町村の一人1日当たり排出量(平成28年度)

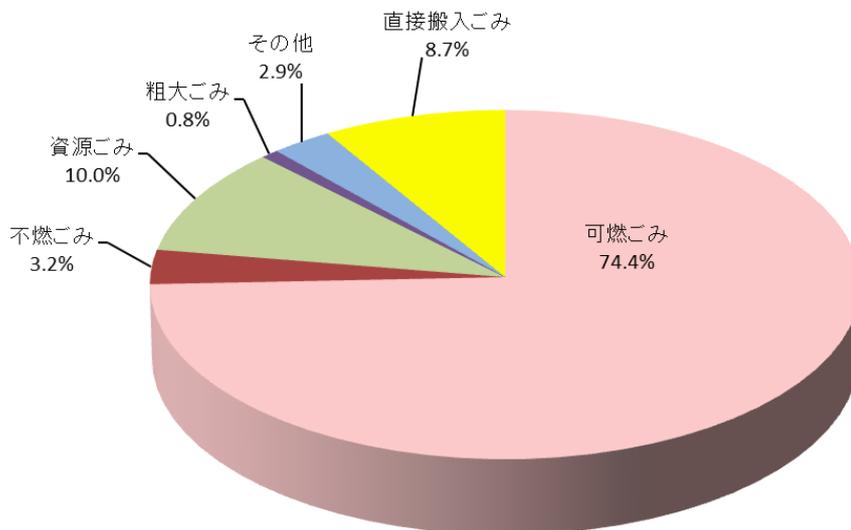
市部			町村部					
市名	排出量	前年度比	町村名	排出量	前年度比	町村名	排出量	前年度比
盛岡市	1,044	△ 1.7	雫石町	1,047	2.3	軽米町	594	0.5
宮古市	1,050	△ 0.5	葛巻町	776	9.8	野田村	795	△ 2.2
大船渡市	763	△ 1.9	岩手町	807	1.6	九戸村	706	1.7
花巻市	921	△ 4.0	紫波町	895	△ 2.2	洋野町	699	0.3
北上市	781	△ 1.6	矢巾町	1,161	△ 5.1	一戸町	735	△ 1.7
久慈市	1,007	0.0	西和賀町	787	△ 0.5	県平均	921	△ 1.3
遠野市	860	△ 2.7	金ヶ崎町	712	△ 0.2			
一関市	827	△ 0.0	平泉町	751	△ 4.2			
陸前高田市	771	△ 1.0	住田町	580	△ 3.5			
釜石市	1,154	△ 2.4	大槌町	963	4.1			
二戸市	917	△ 0.9	山田町	882	0.3			
八幡平市	1,042	△ 0.2	岩泉町	1,017	1.8			
奥州市	852	△ 0.1	田野畑村	858	△ 8.0			
滝沢市	887	△ 2.1	普代村	1,007	4.6			

(単位:g、%)

キ 平成 28 年度のごみの収集区分別排出量は、可燃ごみが最も多く、全体の 74.4%を占めている。可燃ごみ以外では、資源ごみが 10.0%、不燃ごみと粗大ごみで 4.0%となっており、この構成比は近年ほぼ横ばいで推移している。

表－3 ごみの種別の推移

年度 ごみの収集区分	H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量(t)	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比
可燃ごみ	315,756	73.4	308,797	73.3	307,497	72.3	311,758	72.4	314,844	73.3	313,242	73.4	308,239	73.4	304,819	74.4
不燃ごみ	14,838	3.4	14,560	3.5	16,713	3.9	14,707	3.4	14,864	3.5	14,345	3.4	13,633	3.3	13,020	3.2
資源ごみ	47,090	10.9	46,310	11.0	48,098	11.3	46,963	10.9	45,673	10.6	43,757	10.2	43,138	10.3	41,158	10.0
粗大ごみ	3,181	0.7	3,212	0.8	3,464	0.8	3,536	0.8	3,674	0.9	3,566	0.8	3,568	0.9	3,478	0.8
その他	12,327	2.9	12,430	2.9	11,221	2.6	11,858	2.8	12,192	2.8	12,485	2.9	12,306	2.9	11,819	2.9
直接搬入ごみ	37,044	8.6	36,230	8.6	38,377	9.0	41,885	9.7	38,499	9.0	39,612	9.3	38,556	9.2	35,633	8.7
合計	430,236	100.0	421,539	100.0	425,370	100.0	430,707	100.0	429,746	100.0	427,007	100.0	419,440	100.0	409,927	100.0



図－4 平成 28 年度のごみ種別の割合

(2) ごみ処理の状況

ア 平成 28 年度の各市町村等におけるごみ処理の状況は、ごみ処理量合計 409 千トンのうち、直接焼却が 343 千トン（83.8%）、直接資源化（リサイクル）が 16.7 千トン（4.0%）、直接最終処分が 1.6 千トン（0.4%）、焼却以外の圧縮や破砕等の中間処理が 48.5 千トン（11.8%）であった。

なお、処理残渣は焼却処理や最終処分がされている。

（※ごみ処理合計＝※1 直接最終処分＋※2 直接焼却＋※3 焼却以外の中間処理施設処理＋※4 直接資源化）

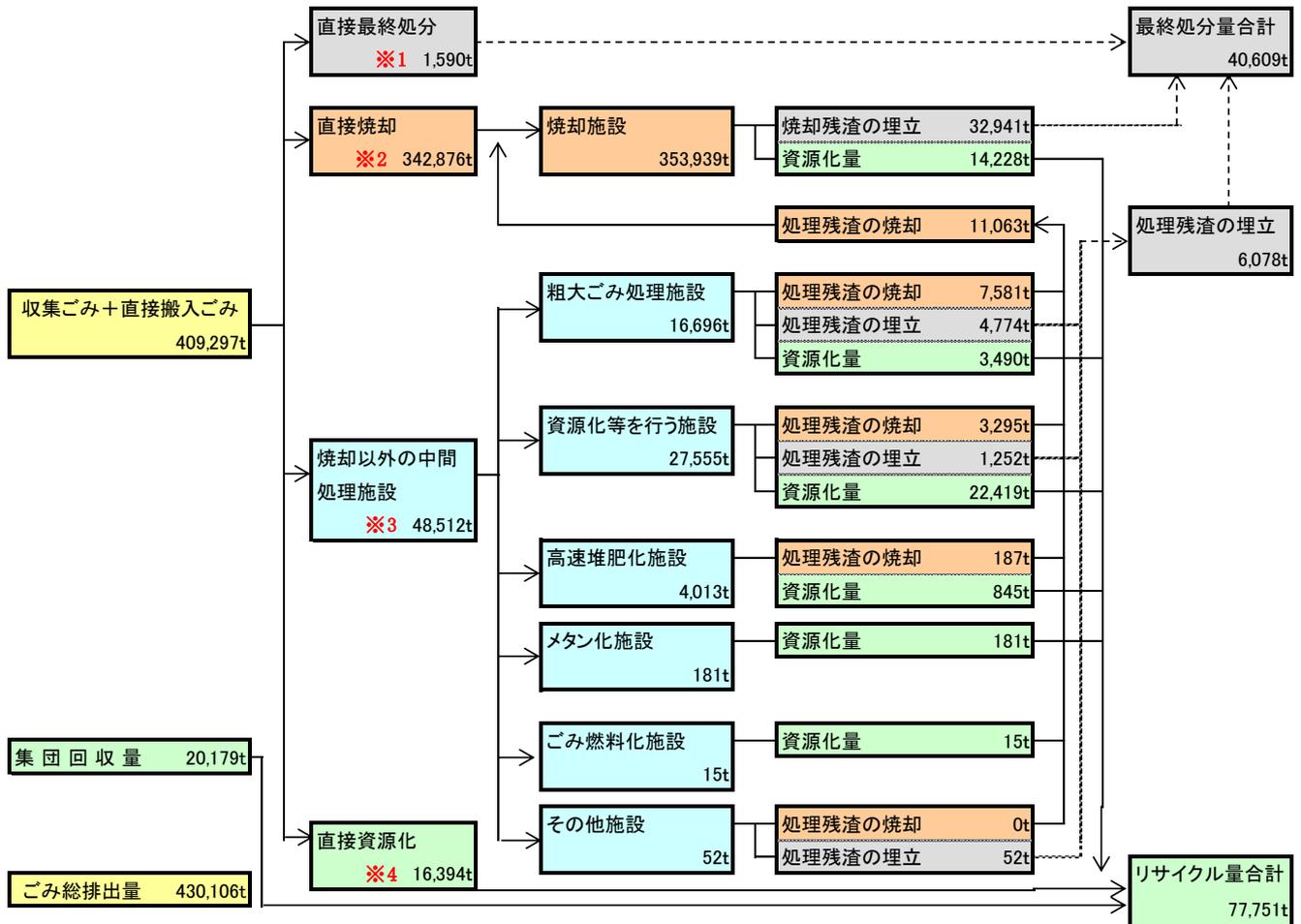


図-5 ごみの処理のフロー

イ 焼却施設処理量は 354 千トンで前年度から 1.9%減少、最終処分量は 40.6 千トンで前年度から 9.6%減少した。

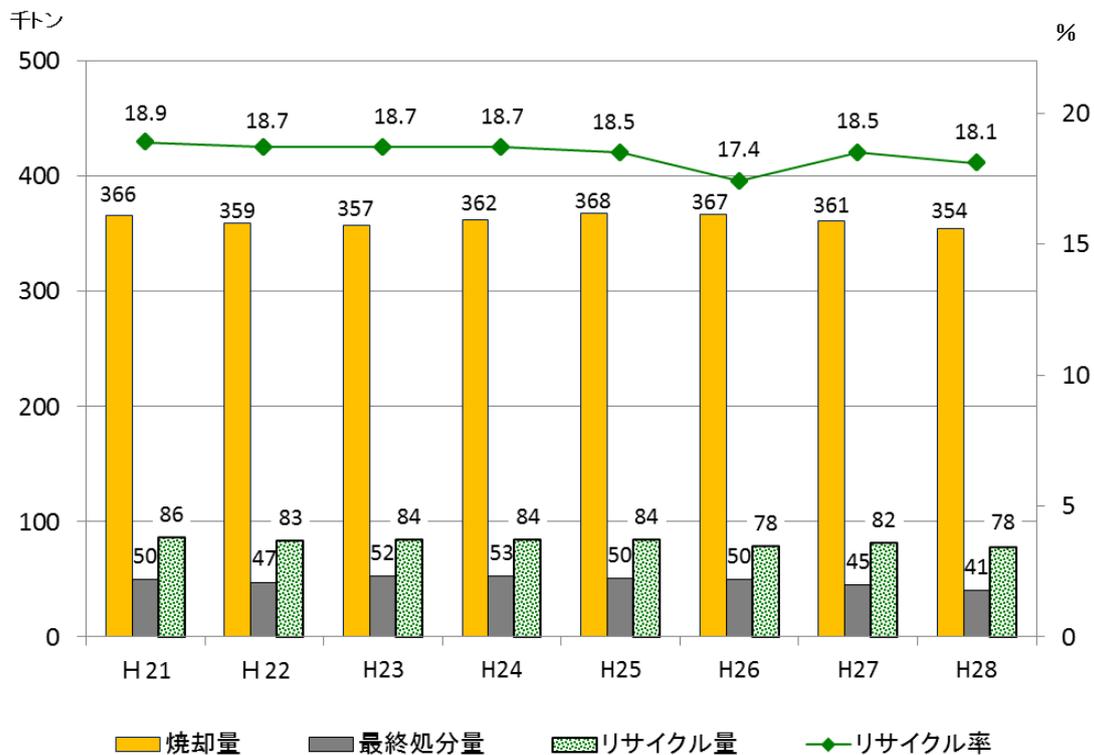
なお、最終処分量 40.6 千トンは、岩手県庁舎を枳に例えると 0.6 杯分に相当する。

（※埋立ごみの比重 0.8 トン/m3 として算出）

ウ 焼却処理量（焼却施設資源化量を除く。）と最終処分量（焼却残渣埋立量を除く。）の合計量は、347 千トンで前年度から 2.1%減少した。また、県民一人 1 日当たりの処理量は 744 g で前年度の 751 g から 7 g 減少した。

表－４ ごみ処理の推移

項目	H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	実数	前年度比 (%)														
総集人口(人)	1,353,183	99.2	1,342,291	99.2	1,325,147	98.7	1,321,598	99.7	1,312,383	99.3	1,302,923	99.3	1,291,352	99.1	1,279,875	99.1
世帯数(世帯)	503,182	100.3	505,719	100.5	506,361	100.1	510,124	100.7	515,499	101.1	518,191	100.5	493,049	95.1	523,205	106.1
ごみ排出量(t)	455,216	95.7	446,281	98.0	449,111	100.6	455,076	101.3	452,666	99.5	449,548	99.3	440,812	98.1	430,106	97.6
一人1日ごみ排出量(g)	922	96.5	911	98.8	926	101.6	943	101.8	945	100.2	945	100.0	933	98.7	921	98.7
焼却量計(t)	365,625	95.4	359,208	98.2	356,899	99.4	362,229	101.5	367,676	101.5	367,105	99.8	360,685	98.3	353,939	98.1
直接焼却(t)	355,408	95.4	348,799	98.1	345,684	99.1	352,389	101.9	356,533	101.2	355,776	99.8	348,857	98.1	342,876	98.3
中間処理施設残渣(t)	10,217	95.4	10,409	101.9	11,215	107.7	9,840	87.7	11,143	113.2	11,329	101.7	11,828	104.4	11,063	93.5
最終処分量計(t)	49,900	92.8	47,400	95.0	52,498	110.8	52,678	100.3	50,415	95.7	49,913	99.0	44,939	90.0	40,609	90.4
直接最終処分(t)	2,368	89.8	1,920	81.1	4,492	234.0	1,893	42.1	1,937	102.3	2,089	107.8	1,740	83.3	1,590	91.4
中間処理施設残渣(t)	8,156	90.7	7,172	87.9	9,072	126.5	7,773	85.7	7,037	90.5	7,624	108.3	6,754	88.6	6,078	90.0
焼却施設残渣(t)	39,376	93.4	38,308	97.3	38,934	101.6	43,012	110.5	41,441	96.3	40,200	97.0	36,445	90.7	32,941	90.4
直接資源化量+中間処理後再生利用量(t)	60,952	95.8	58,507	96.0	60,110	102.7	59,813	99.5	60,944	101.9	55,597	91.2	60,223	108.3	57,572	95.6
集団回収量(t)	24,980	97.4	24,742	99.0	23,741	96.0	24,369	102.6	22,920	94.1	22,541	98.3	21,372	94.8	20,179	94.4
資源化量計(t)	85,932	96.3	83,249	96.9	83,851	100.7	84,182	100.4	83,864	99.6	78,138	93.2	81,595	104.4	77,751	95.3
リサイクル率(%)	18.9	100.5	18.7	98.9	18.7	100.0	18.7	100.0	18.5	98.9	17.4	94.1	18.5	106.3	18.1	97.8
焼却処理・埋立処分量(t)	365,016	95.6	358,164	98.1	360,366	100.6	361,190	100.2	363,797	100.7	367,114	100.9	354,880	96.7	347,379	97.9
一人1日処理量(g)	739	96.3	731	98.9	743	101.6	749	100.8	759	101.4	772	101.6	751	97.3	744	99.0



図－６ ごみの処理の推移

### (3) リサイクルの状況

ア リサイクル量は、77.8千トンで、前年度より4.7%減少した。また、リサイクル率は18.1%で近年ほぼ横ばいで推移しており、前年度から0.4ポイント下降した。

(※リサイクル量=直接資源化量+中間処理後再生利用量+集団回収量)

表－5 各市町村のリサイクル率と一人当たり年間リサイクル量(平成28年度)

市 部			町 村 部					
市名	リサイクル率 (%)	1人当たり年間リサイクル量 (kg/年)	町村名	リサイクル率 (%)	1人当たり年間リサイクル量 (kg/年)	町村名	リサイクル率 (%)	1人当たり年間リサイクル量 (kg/年)
盛岡市	16.1	61.3	雫石町	24.3	92.9	軽米町	19.2	41.9
宮古市	14.0	53.7	葛巻町	32.0	90.8	野田村	10.3	29.7
大船渡市	20.5	57.0	岩手町	14.1	41.6	九戸村	9.1	23.5
花巻市	22.5	75.7	紫波町	22.2	72.5	洋野町	10.9	27.9
北上市	26.1	74.4	矢巾町	19.3	81.7	一戸町	28.3	75.9
久慈市	10.3	37.7	西和賀町	22.3	64.1	県平均	18.1	60.7
遠野市	28.7	89.3	金ヶ崎町	15.5	40.3	(単位: %、kg/年)		
一関市	15.1	45.5	平泉町	13.9	38.1			
陸前高田市	24.1	68.0	住田町	27.4	58.1			
釜石市	22.3	94.0	大槌町	32.1	107.6			
二戸市	14.1	47.3	山田町	13.8	44.6			
八幡平市	11.3	43.0	岩泉町	33.6	124.6			
奥州市	11.5	35.9	田野畑村	25.3	79.2			
滝沢市	24.7	80.1	普代村	9.4	34.7			

表－6 各市町村のリサイクル率の推移

リサイクル率の水準	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
40%以上				住田町 42.6	陸前高田市 45.1 住田町 41.5			
35～40%	岩泉町 36.3	岩泉町 36.5	岩泉町 36.0	岩泉町 37.1	大槌町 38.0 葛巻町 37.0 岩泉町 36.2	岩泉町 36.4 葛巻町 35.0	岩泉町 35.5 葛巻町 35.2	
30～35%	滝沢市 32.8 住田町 30.2	滝沢市 30.6	大槌町 34.2 住田町 30.3	大槌町 34.6	釜石市 30.2	大槌町 31.9 住田町 31.8		岩泉町 33.6 大槌町 32.1 葛巻町 32.0
25～30%	雫石町 29.6 田野畑村 27.8 葛巻町 27.6 紫波町 27.5 釜石市 26.0	住田町 29.5 紫波町 27.9 田野畑村 27.0 葛巻町 26.5 雫石町 26.3 大槌町 25.6 北上市 25.2	滝沢市 28.3 雫石町 26.7 紫波町 26.4 田野畑村 26.4 大船渡市 26.8 葛巻町 26.1 釜石市 25.3	葛巻町 29.4 陸前高田市 29.1 田野畑村 27.9 大船渡市 26.5 滝沢市 26.4 紫波町 26.4 釜石市 26.2	滝沢市 26.2 大船渡市 26.0 雫石町 25.9 紫波町 25.4	陸前高田市 27.7 滝沢市 27.0 雫石町 25.8	滝沢市 29.7 住田町 29.2 大槌町 28.7 紫波町 28.5 一戸町 27.7 雫石町 27.4 矢巾町 25.8 遠野市 25.2 陸前高田市 25.1	遠野市 28.7 一戸町 28.3 住田町 27.4 北上市 26.1 田野畑村 25.3
20～25%	北上市 24.8 矢巾町 23.9 大船渡市 22.3 大槌町 21.1 陸前高田市 20.8	矢巾町 24.7 釜石市 24.0 大船渡市 20.2 金ヶ崎町 20.2	北上市 25.0 矢巾町 24.3 大船渡市 22.7 陸前高田市 20.8 金ヶ崎町 20.1	雫石町 24.3 矢巾町 24.0 北上市 22.9 遠野市 21.4	田野畑村 24.3 矢巾町 23.4 遠野市 21.6 北上市 21.4	紫波町 24.3 田野畑村 24.1 遠野市 22.9 釜石市 22.9 一戸町 22.3 北上市 20.3	田野畑村 24.1 北上市 22.2 釜石市 21.9 軽米町 20.9	滝沢市 24.7 雫石町 24.3 陸前高田市 24.1 花巻市 22.5 釜石市 22.3 西和賀町 22.3 紫波町 22.2 大船渡市 20.5
15～20%	藤沢町 19.3 県平均 18.9 遠野市 18.2 山田町 18.2 西和賀町 17.9 宮古市 17.5 山田町 17.5 奥州市 16.9 盛岡市 16.6 一戸町 16.5 花巻市 16.4 岩手町 16.1 一関市 15.9 平泉町 15.5 軽米町 15.1	藤沢町 19.7 県平均 18.7 盛岡市 17.5 西和賀町 17.5 遠野市 17.4 一戸町 16.8 山田町 16.6 宮古市 16.5 花巻市 16.1 奥州市 16.0 一関市 15.8 陸前高田市 15.7 二戸市 15.2 岩手町 15.0	遠野市 19.6 県平均 18.7 盛岡市 17.9 一戸町 17.0 花巻市 16.5 西和賀町 16.2 宮古市 15.7 一関市 15.4 岩手町 15.4 奥州市 15.1	金ヶ崎町 19.1 県平均 18.7 一戸町 17.9 盛岡市 17.5 花巻市 17.3 西和賀町 16.2 宮古市 16.2 軽米町 15.9 岩手町 15.7 奥州市 15.4	県平均 18.5 金ヶ崎町 18.3 軽米町 18.1 一戸町 18.1 盛岡市 17.1 西和賀町 16.0 宮古市 15.8 岩手町 15.8 一関市 15.6	大船渡市 19.9 軽米町 18.4 県平均 17.5 金ヶ崎町 17.4 西和賀町 16.2 盛岡市 16.1 一関市 15.6 岩手町 15.2	大船渡市 19.7 県平均 18.5 花巻市 18.2 盛岡市 17.8 金ヶ崎町 17.6 一関市 15.8	矢巾町 19.3 軽米町 19.2 県平均 18.1 盛岡市 16.1 金ヶ崎町 15.5 一関市 15.1
10～15%	二戸市 14.8 八幡平市 13.4 洋野町 13.2 久慈市 11.6	軽米町 14.7 山田町 13.8 洋野町 12.3 八幡平市 11.2 久慈市 10.7	軽米町 14.6 山田町 13.0 平泉町 12.7 洋野町 12.0 久慈市 11.6 九戸村 10.8	二戸市 14.7 山田町 14.6 一関市 14.1 平泉町 13.3 八幡平市 11.8 洋野町 11.2 九戸村 10.5 久慈市 10.4	山田町 14.8 花巻市 14.6 奥州市 14.0 二戸市 13.1 平泉町 11.9 洋野町 11.4 八幡平市 11.2 久慈市 10.5 九戸村 10.2	花巻市 14.7 宮古市 14.6 山田町 14.0 二戸市 13.3 奥州市 13.0 平泉町 12.0 久慈市 11.2 洋野町 11.0 野田村 10.8 八幡平市 10.7 普代村 10.6	宮古市 14.4 二戸市 14.3 山田町 14.2 岩手町 14.0 野田村 11.9 奥州市 11.8 八幡平市 11.5 洋野町 10.9 野田村 10.6 普代村 10.4 平泉町 10.1	岩手町 14.1 二戸市 14.1 宮古市 14.0 平泉町 13.9 山田町 13.8 奥州市 11.5 八幡平市 11.3 洋野町 10.9 野田村 10.3 久慈市 10.3
10%未満	九戸村 9.9 野田村 9.2 普代村 9.0	普代村 9.6 野田村 9.6 九戸村 9.6	野田村 9.4 普代村 8.5	野田村 9.4 普代村 8.3	普代村 9.9 野田村 9.2	九戸村 8.6	九戸村 9.2	普代村 9.4 九戸村 9.1

(単位: %)

イ リサイクル量 77.8 千トンについて、品目別の割合をみると、紙類が 43.1%で最も多く、次いで金属類の 13.8%、ガラス類の 13.4%、溶融スラグの 9.6%となっている。

(※溶融スラグは、廃棄物を高温で溶融したものを冷却し固化させたもので、主に建設・土木資材としてリサイクルされている。)

表-7 品目別のリサイクル量の推移

品目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
紙類	39,693	39,781	40,320	40,672	37,993	36,092	35,625	33,493
紙パック	269	230	237	286	235	218	204	208
紙製容器包装	5,397	4,135	4,006	3,233	3,241	3,077	1,516	1,327
金属類	11,735	10,933	11,513	10,733	11,723	11,564	11,353	10,759
ガラス類	12,112	11,862	11,917	11,320	11,588	10,566	11,161	10,414
ペットボトル	2,740	2,736	2,747	3,318	2,658	2,562	2,593	2,623
白色トレイ	82	100	87	295	60	56	51	46
容器包装プラスチック類	2,485	2,963	3,145	3,302	3,489	3,682	3,830	3,926
プラスチック類	36	1	2	2	1	1	29	22
布類	261	277	250	366	445	744	871	564
肥料	658	714	603	818	897	1,087	1,011	870
溶融スラグ	10,072	9,144	8,786	9,492	11,143	7,967	10,480	7,437
燃料	13	14	12	14	15	16	16	16
セメント原料化	0	0	0	0	0	0	1,904	5,019
セメント工場直投	0	0	0	0	0	0	240	232
廃食用油	15	19	15	14	33	38	33	34
その他	364	340	211	317	343	468	678	760
合計	85,932	83,249	83,851	84,182	83,864	78,138	81,595	77,751

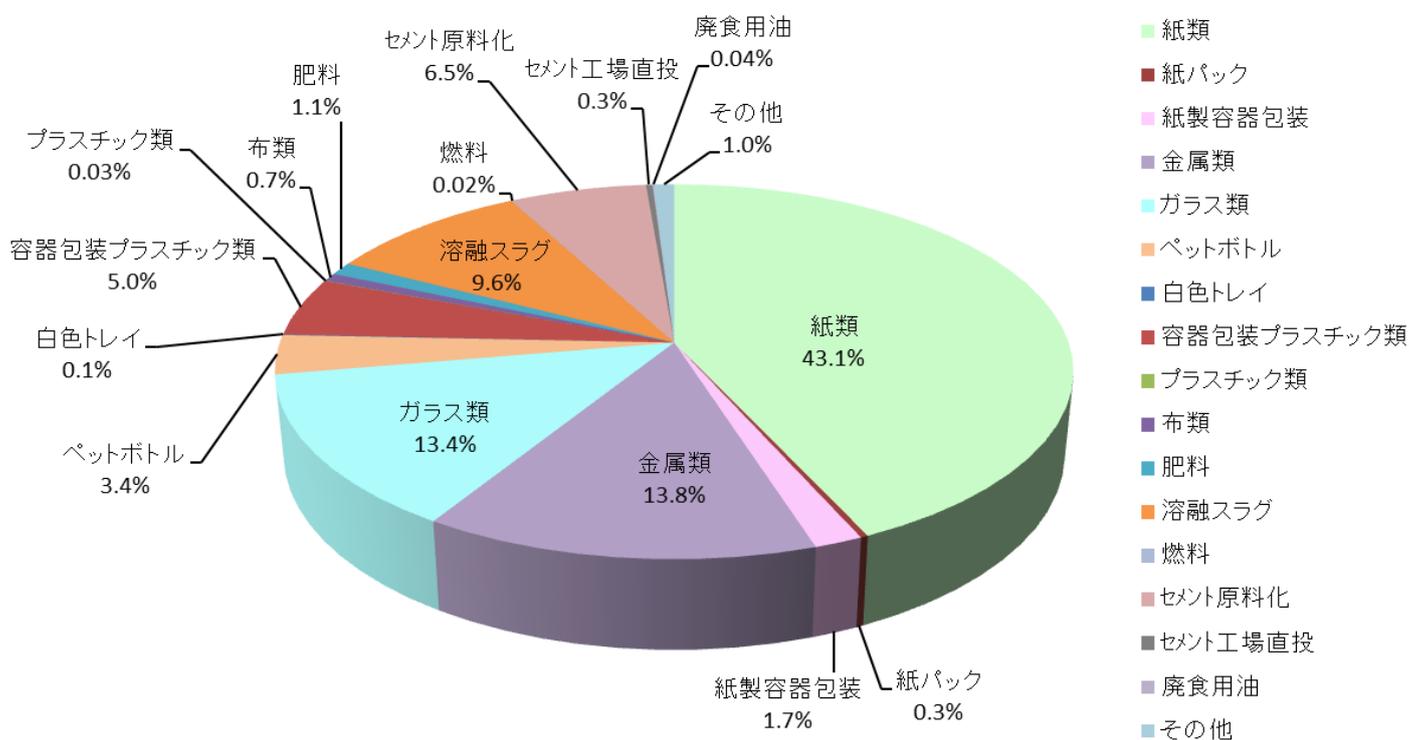


図-7 平成 28 年度のリサイクル品目別の割合

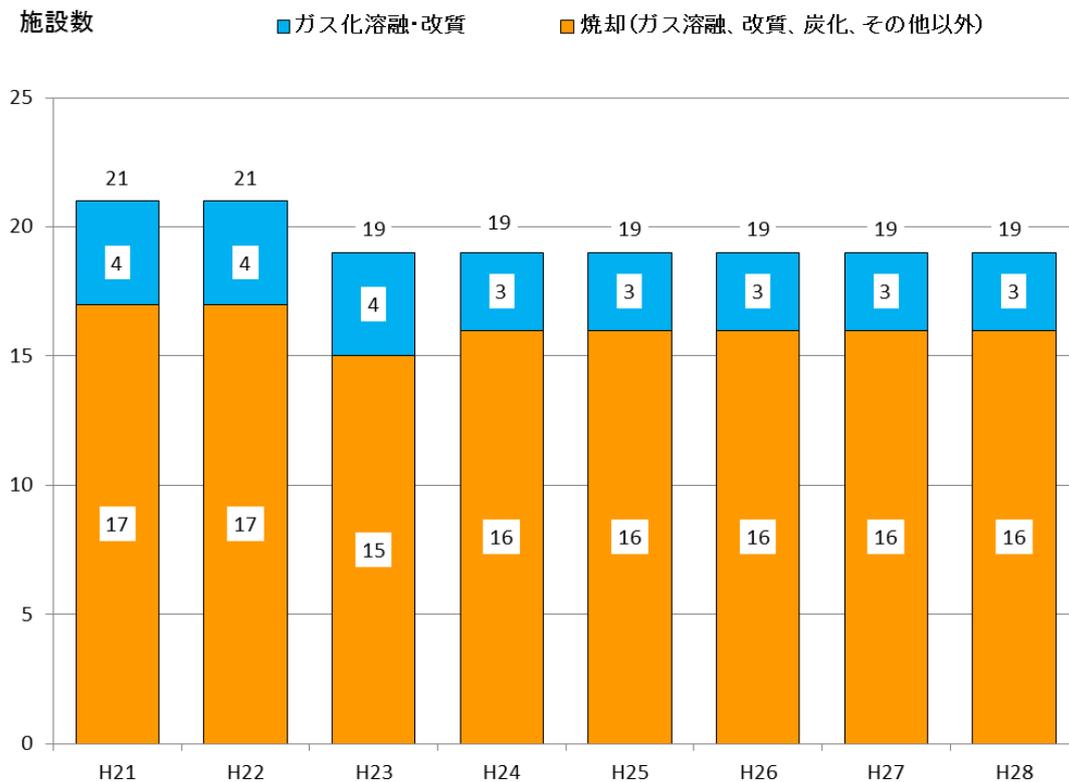
## 2 ごみ焼却施設の整備状況（着工ベース）

### (1) 焼却施設数

平成 28 年度末現在のごみ焼却施設数は 19 施設であり、処理能力の合計は 2,304 トン/日（表－8、表－9）である。図－8、図－9 に施設数及び処理能力の推移を、図－10 に施設規模別の内訳を示す。

表－8 ごみ焼却施設の種別施設数の推移（休止中及び新設の施設を含む。）

施設の種別	焼却(ガス溶融、改質、炭化、その他以外)	ガス化溶融・改質	炭化	その他	合計
H21	17	4	0	0	21
H22	17	4	0	0	21
H23	15	4	0	0	19
H24	16	3	0	0	19
H25	16	3	0	0	19
H26	16	3	0	0	19
H27	16	3	0	0	19
H28	16	3	0	0	19

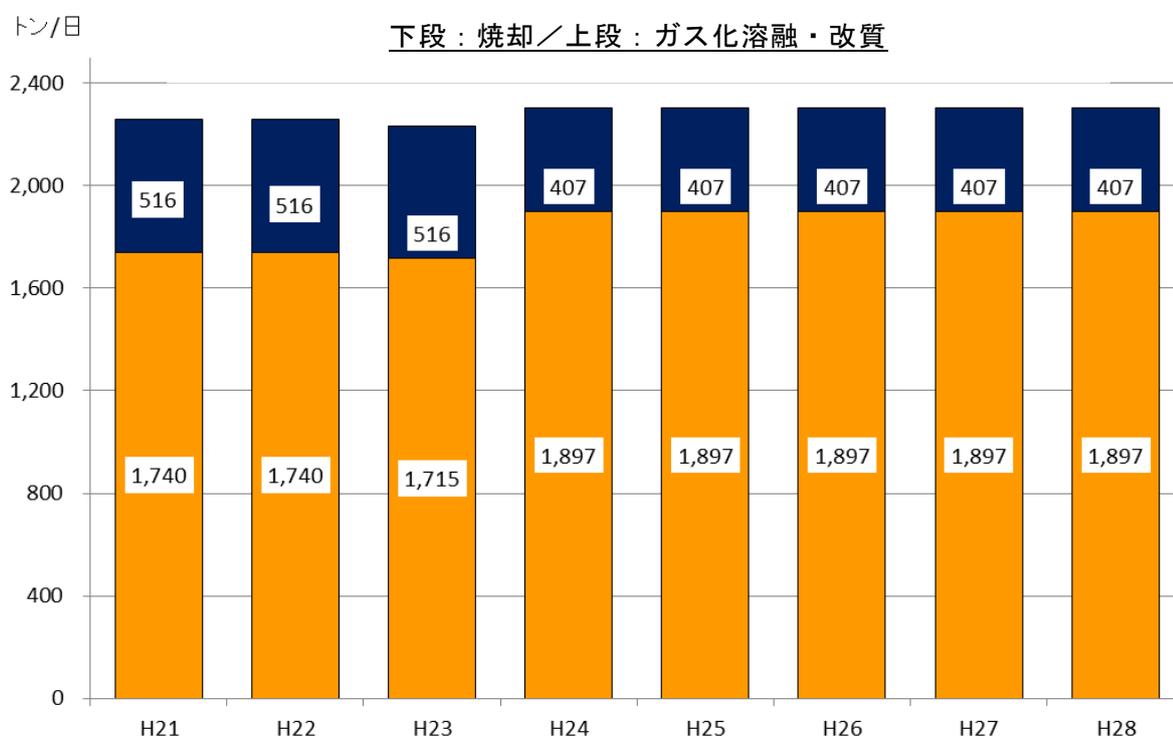


図－8 ごみ焼却施設の種別施設数の推移

表－9 ごみ焼却施設の種別処理能力の推移（休止中及び新設の施設を含む。）

(処理能力:トン/日)

施設の種別	焼却(ガス溶融、改質、炭化、その他以外)	ガス化溶融・改質	炭化	その他	合計
H21	1,740	516	0	0	2,256
H22	1,740	516	0	0	2,256
H23	1,715	516	0	0	2,231
H24	1,897	407	0	0	2,304
H25	1,897	407	0	0	2,304
H26	1,897	407	0	0	2,304
H27	1,897	407	0	0	2,304
H28	1,897	407	0	0	2,304



図－9 ごみ焼却施設の種別処理能力の推移

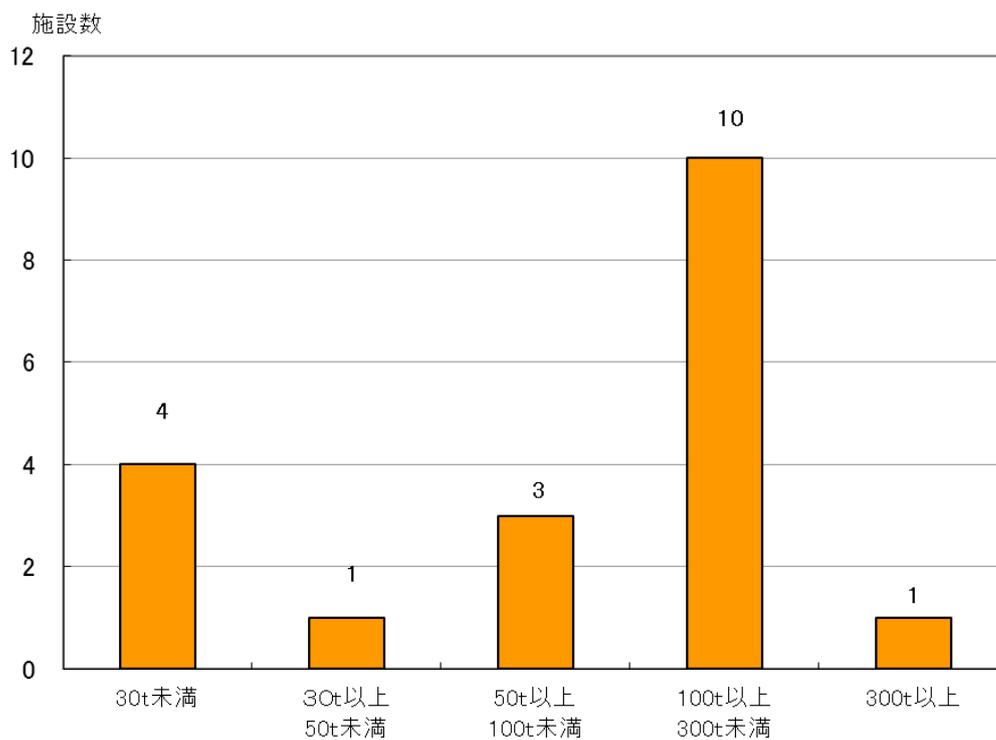


図-10 ごみ焼却施設の規模別施設数

(2) 余熱利用の状況

余熱の利用は 14 施設で実施されており、施設内においては暖房・給湯に利用されており、施設外においては温水プール等への温水・熱供給、発電等に利用されている（表-10、図-10）。

表-10 ごみ焼却施設の余熱利用状況

余熱利用の状況	余熱利用あり							余熱利用無し	
	場内温水	場外温水	場内蒸気	場外蒸気	場内発電	場外発電	その他		
施設数	14 (16)	12 (13)	2 (3)	1 (1)	0 (0)	5 (5)	4 (1)	0 (0)	5 (3)

(カッコ内は平成27年度データ)

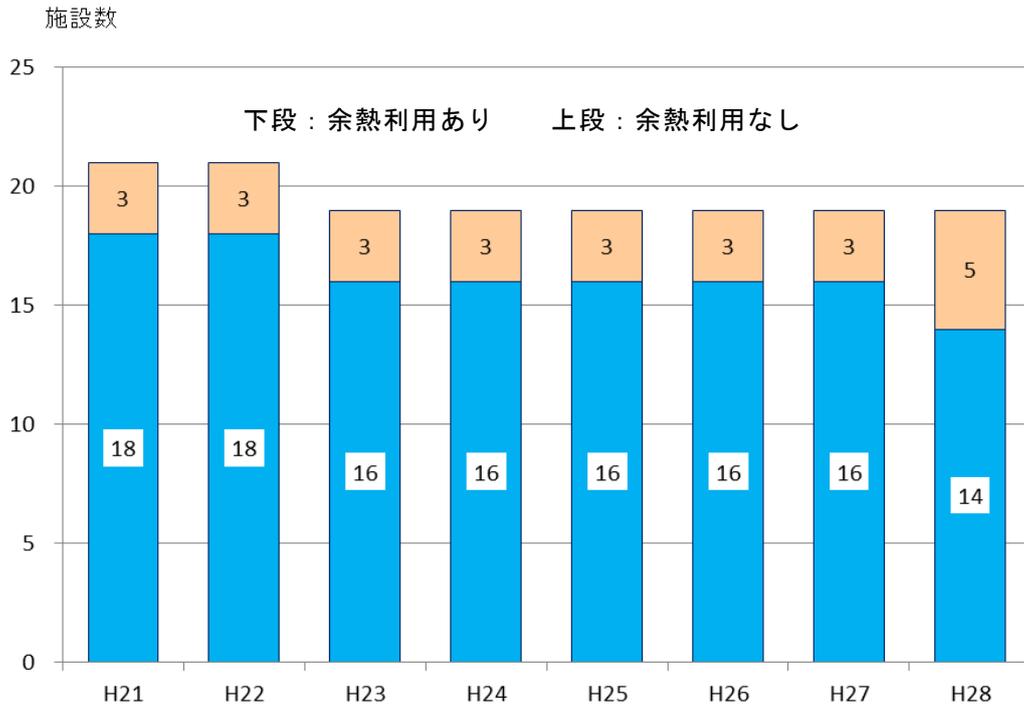


図-11 ごみ焼却施設の規模別施設数

### (3) 発電の状況

発電設備を有する施設は**5施設**で、発電能力の合計は**11,400kW**である(表-11)。また、総発電電力量は**71,866MWh**であり、約21,300世帯分の年間電力使用量に相当する。

(※電気事業連合会調べ：平成25年度一世帯当たりの電力消費量281.2kWh/月をもとに算出。)

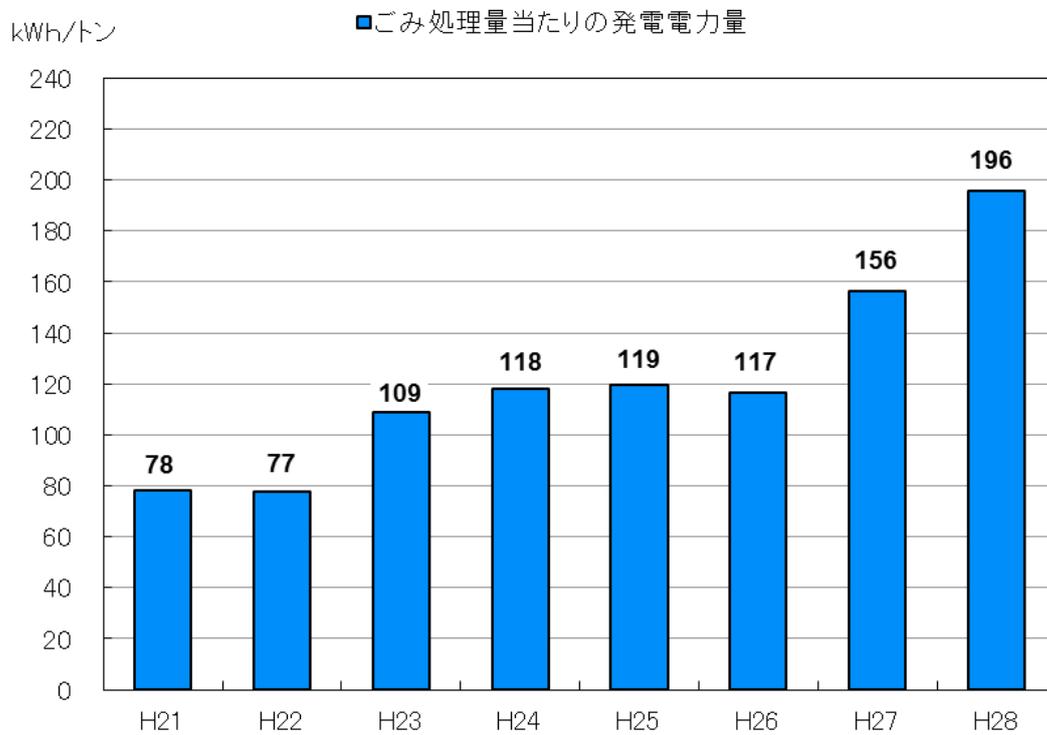
表-11 ごみ焼却施設の発電の状況

発電施設数	5(5)
総発電能力(kW)	11,400(11,400)
発電効率(平均)(%)	12.2(11.8)
総発電電力量(MWh)	71,866(57,008)

(カッコ内は平成27年度データ)

#### (4) 発電電力量

ごみ焼却施設（発電設備の有無を問わない。）の年間処理量と年間総発電電力量から求められるごみ処理量当たりの発電電力量は、196kWh/トン（平成 27 年度：156kWh/トン）であった（図－12）。



図－12 ごみ処理量当たりの発電電力量

$$\text{ごみ処理量当たりの発電電力量 (kWh/トン)} = \frac{\text{ごみ焼却施設における年間総発電電力量 (kWh)}}{\text{ごみ焼却施設におけるごみの年間処理量 (トン)}}$$

### (5) 発電効率

発電設備を有する5施設のうち発電効率が10%以上の施設は3施設である（図-13）。

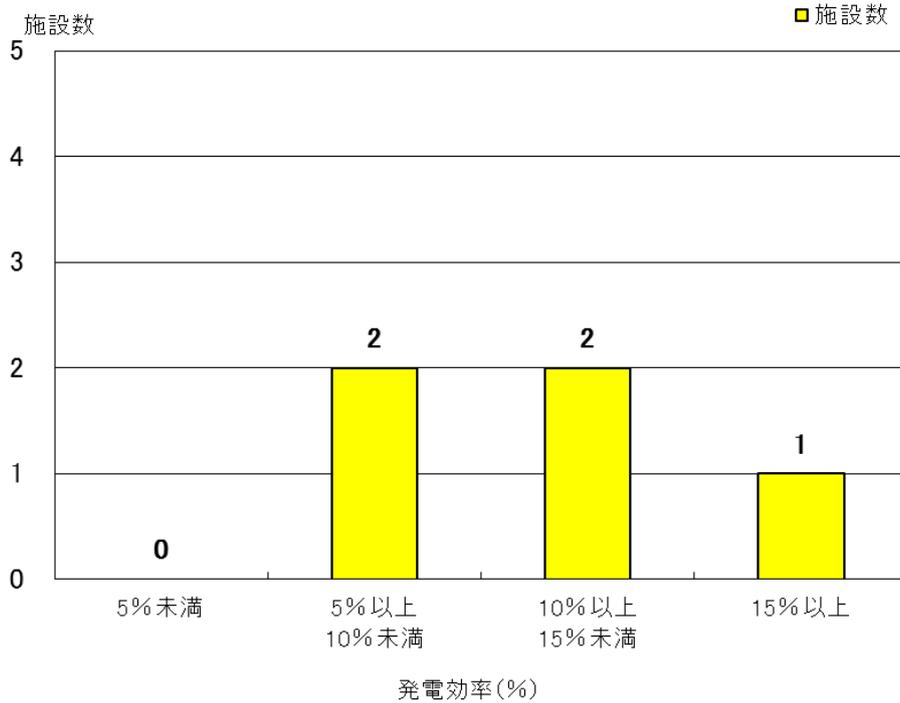


図-13 ごみ焼却施設の発電効率別の施設数

### (6) 発電能力

発電能力は、5施設とも発電能力が5,000kW未満であり、そのうち2施設は、1,000kW以上2,000kW未満という比較的小規模な発電設備を有する施設である（図-14）。

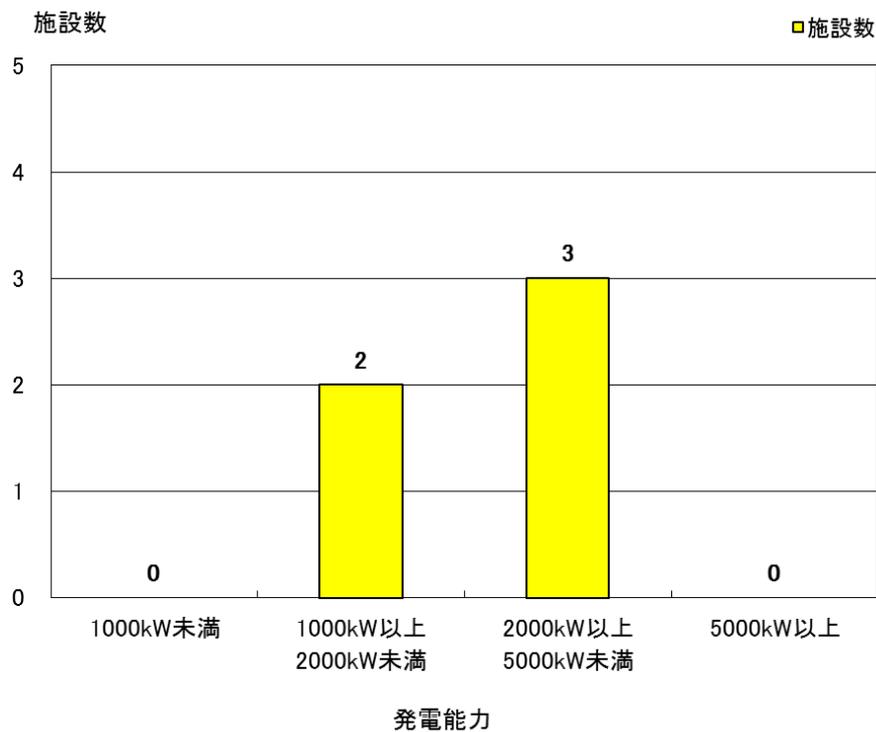


図-14 ごみ焼却施設の発電能力別の施設数

### 3 最終処分場の整備状況

#### (1) 残余容量と残余年数

平成 28 年度末現在、一般廃棄物最終処分場は 23 施設、残余容量は 782 千 $m^3$ で、残余年数は 13.2 年である（表-12、図-15）。

※残余年数とは、新規の最終処分場が整備されず、当該年度の最終処分量により埋立が行われた場合に、埋立処分が可能な期間（年）をいい、以下の式により算出される。

$$\text{残余年数} = \frac{\text{当該年度末の残余容量}}{\text{当該年度の最終処分量} \div \text{埋立ごみ比重}} \quad (\text{埋立ごみ比重は } 0.8163 \text{ とする。})$$

表-12 一般廃棄物最終処分場の施設数と残余年数の推移

区分 年度	最終処分場数					埋立面積 ( $m^2$ )	全体容積 ( $m^3$ )	残余容量 ( $m^3$ )	残余年数 (年)	最終処分量 ( $m^3$ )	当該年度の最終処分量 /埋立ごみ比重(0.8163)	休止中又は 埋立実績なし
	山間	海面	水辺	平地	計							
H21	24	0	0	1	25	465,843	3,419,098	1,245,916	20.1	50,579	61,961.28874	3
H22	25	0	0	1	26	475,613	3,462,185	1,265,123	20.8	49,638	60,808.52628	3
H23	23	0	0	1	24	429,619	3,007,066	968,162	12.9	61,400	75,217.44457	3
H24	23	0	0	1	24	429,619	3,057,066	948,748	8.6	90,484	110,846.50251	3
H25	23	0	0	1	24	429,619	3,057,066	843,951	4.4	156,557	191,788.55813	1
H26	22	0	0	1	23	418,039	3,014,158	820,226	11.8	56,639	69,385.03001	1
H27	22	0	0	1	23	417,462	3,024,294	792,701	14.1	45,775	56,076.19748	1
H28	22	0	0	1	23	417,462	3,024,294	782,245	13.2	48,493	59,405.85569	1

※埋立終了施設を除き、埋立中の休止施設を含む。

※最終処分量には、災害廃棄物の埋立量を含む。

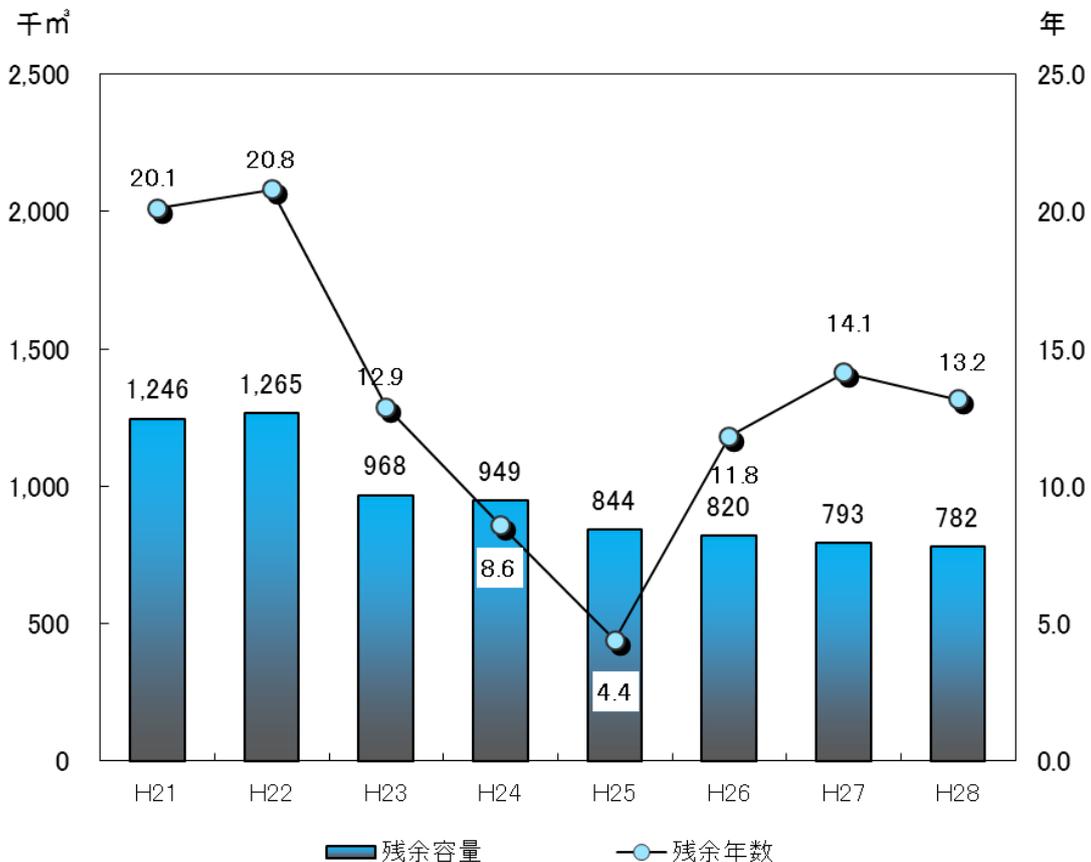


図-15 一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数の推移

(2) 最終処分を目的とした一般廃棄物の県の区域を越える広域移動の状況

平成 28 年度に、県内で発生した一般廃棄物のうち、県外の施設に最終処分を目的として搬出されたのは、780 トン（1.9%）であった。

表-13 最終処分量の県外への移動状況

最終処分量①	県外への移動量	
	②	②/①
40,609t	780t	1.9%

4 ごみ処理の経費

平成 28 年度に市町村及び一部事務組合等がごみ処理に要した経費（市町村から一部事務組合等への組合分担金は含まない。）は、157 億 7 千万円で、県民一人当たりの年間ごみ処理事業経費は 12,324 円であった。

ごみ処理事業経費のうち、処理施設や設備の建設・改良に要した経費は 16 億 5 千万円、処理及び維持管理費に要した経費は 138 億 1 千万円で、県民一人当たりの年間処理及び維持管理費は 10,794 円であった。

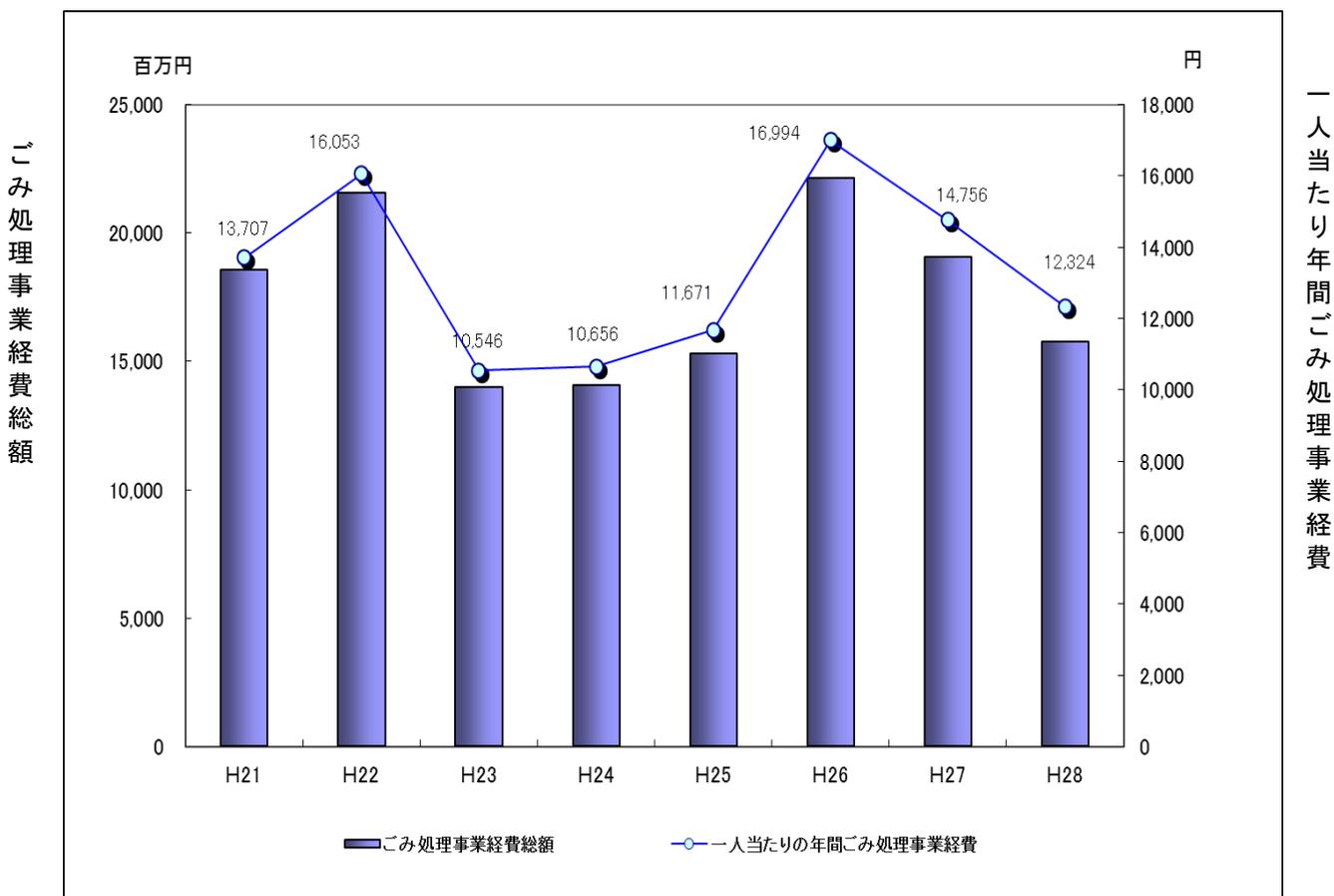


図-16 ごみ処理経費の推移

表-14 ごみ処理経費の推移

費目	H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	経費	前年比														
建設改良費(千円)	4,976,646	803.0	8,197,867	164.7	777,537	9.5	983,612	126.5	1,287,852	130.9	8,126,132	631.0	4,118,488	50.7	1,653,000	40.1
処理及び維持管理費(千円)	13,068,070	100.4	13,076,445	100.1	12,980,135	99.3	12,779,508	98.5	13,510,407	105.7	13,847,889	102.5	13,825,757	99.8	13,814,416	99.9
その他(千円)	503,174	365.0	272,992	54.3	216,784	79.4	319,566	147.4	518,709	162.3	167,683	32.3	1,111,459	662.8	305,214	27.5
合計(千円)	18,547,890	134.6	21,547,304	116.2	13,974,456	64.9	14,082,686	100.8	15,316,968	108.8	22,141,704	144.6	19,055,704	86.1	15,772,630	82.8
収集人口(人)	1,353,183	99.2	1,342,291	99.2	1,325,147	98.7	1,321,598	99.7	1,312,383	99.3	1,302,923	99.3	1,291,352	99.1	1,279,875	99.1
一人当たり処理 ごみ処理事業経費(円)	13,707	135.7	16,053	117.1	10,546	65.7	10,656	101.0	11,671	109.5	16,994	145.6	14,756	86.8	12,324	83.5
一人当たり 及び維持管理経費(円)	9,657	101.2	9,742	100.9	9,795	100.5	9,670	98.7	10,295	106.5	10,628	103.2	10,706	100.7	10,794	100.8

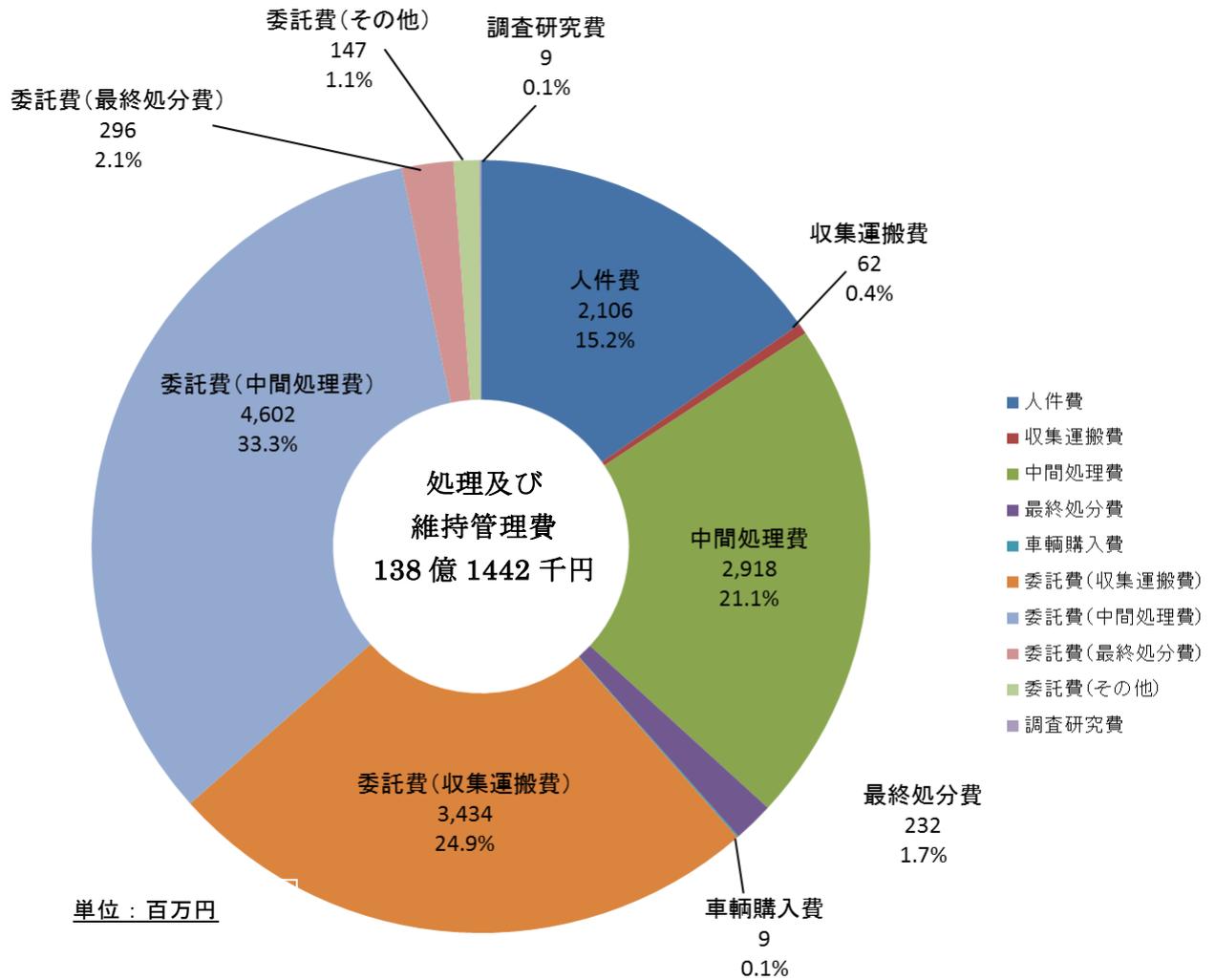


図-17 処理及び維持管理費の内訳

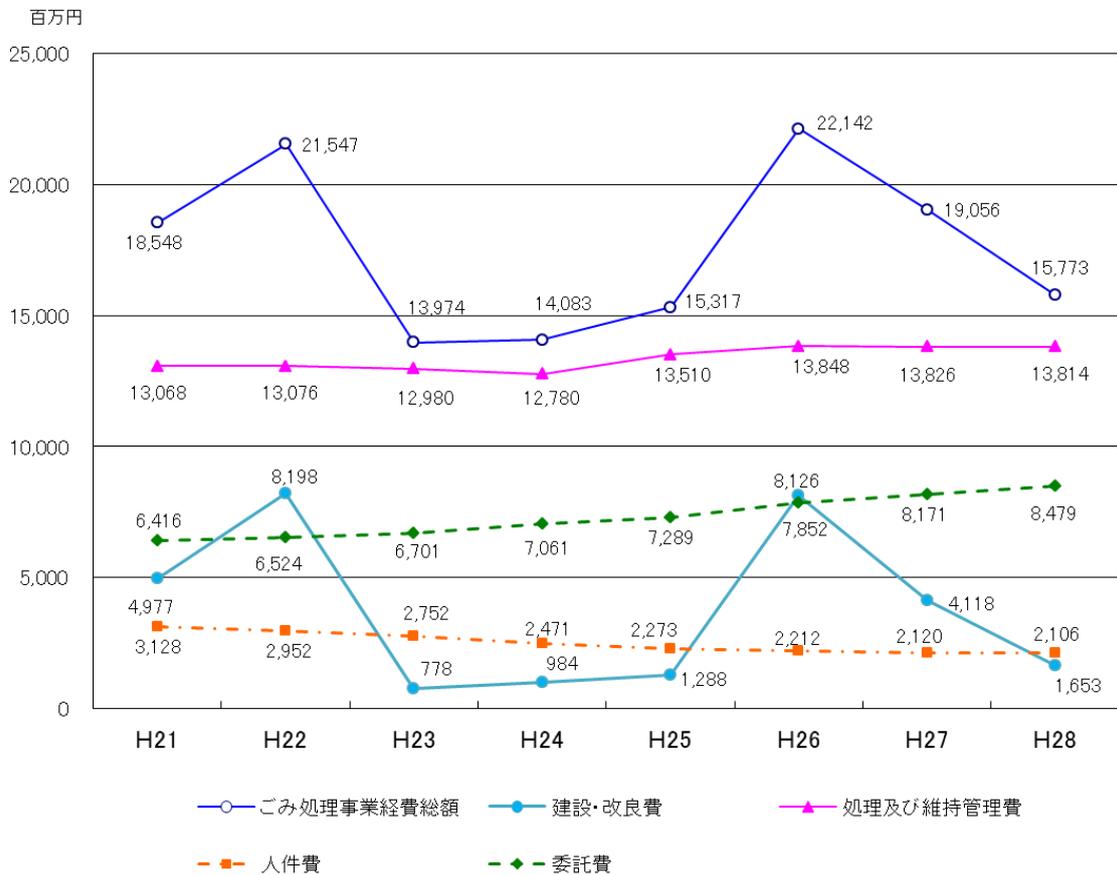


図-18 項目別ごみ処理事業経費の推移

## し尿

### 1 し尿の処理状況

#### (1) し尿処理量

平成28年度のし尿の処理量は、汲み取りし尿374千kL、浄化槽等汚泥165千kLで、し尿処理施設処理量は539千kLであった。

なお、公共下水道が整備され、水洗化が進んだことにより、汲み取りし尿の処理量が減少している。

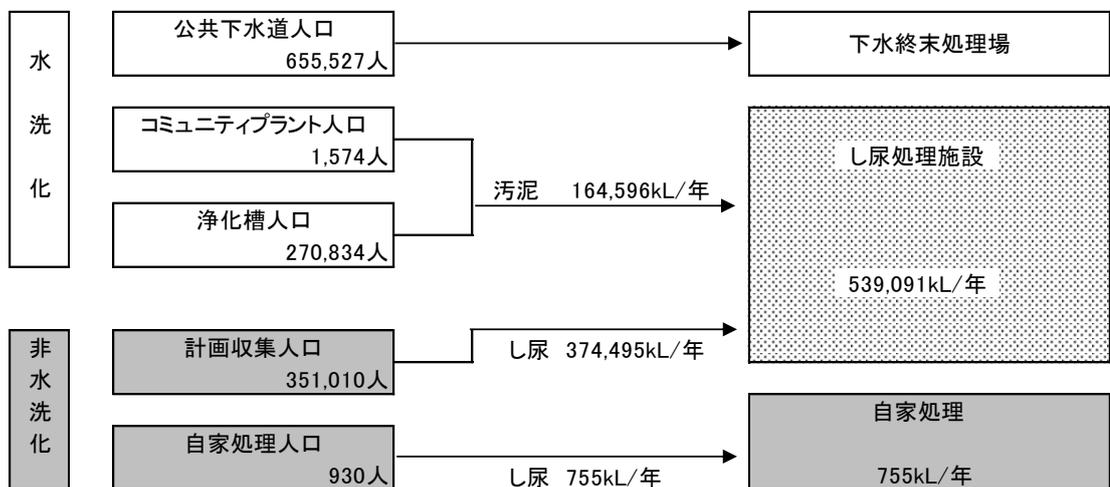


図-19 し尿処理のフロー

表-15 し尿処理の系統の推移

(単位:人、%)

項目	年度		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	人口	構成																
人口	1,353,183	100.0	1,342,291	100.0	1,325,147	100.0	1,321,598	100.0	1,312,383	100.0	1,302,923	100.0	1,291,352	100.0	1,279,875	100.0	1,279,875	100.0
水洗化人口	865,188	63.9	874,439	65.1	874,337	66.0	893,014	67.6	916,427	69.8	921,287	70.7	929,262	72.0	927,935	72.5	927,935	72.5
公共下水道	598,445	44.2	610,544	45.5	608,561	45.9	619,393	46.9	631,977	48.2	637,630	48.9	647,945	50.2	655,527	51.2	655,527	51.2
コミュニティプラント	3,392	0.3	3,340	0.2	2,000	0.2	1,846	0.1	1,717	0.1	1,724	0.1	1,721	0.1	1,574	0.1	1,574	0.1
浄化槽	263,351	19.5	260,555	19.4	263,776	19.9	271,775	20.6	282,733	21.5	281,933	21.6	279,596	21.7	270,834	21.2	270,834	21.2
(合併処理浄化槽)	218,391	16.1	235,738	17.6	242,052	18.3	254,740	19.3	237,016	18.1	237,580	18.2	235,775	18.3	235,807	18.4	235,807	18.4
(単独処理浄化槽)	44,960	3.3	24,817	1.8	21,724	1.6	17,035	1.3	45,717	3.5	44,353	3.4	43,821	3.4	35,027	2.7	35,027	2.7
非水洗化人口	487,995	36.1	467,852	34.9	450,810	34.0	428,584	32.4	395,956	30.2	381,636	29.3	362,090	28.0	351,940	27.5	351,940	27.5
計画収集人口	485,425	35.9	465,605	34.7	448,939	33.9	427,240	32.3	394,845	30.1	380,531	29.2	360,857	27.9	351,010	27.4	351,010	27.4
自家処理人口	2,570	0.2	2,247	0.2	1,871	0.1	1,344	0.1	1,111	0.1	1,105	0.1	1,233	0.1	930	0.1	930	0.1

表-16 し尿処理量の推移

(単位:kL、%)

項目	年度		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28	
	量	構成																
し尿処理量	601,013	100.0	583,672	100.0	568,200	100.0	563,973	100.0	570,416	100.0	557,546	100.0	551,078	100.0	539,846	100.0	539,846	100.0
し尿処理施設	599,299	99.7	582,217	99.8	548,015	96.4	562,977	99.8	569,538	99.8	556,622	99.8	549,995	99.8	539,091	99.9	539,091	99.9
汲み取りし尿	467,220	77.7	449,536	77.0	414,788	73.0	409,531	72.6	408,840	71.7	393,081	70.5	382,943	69.5	374,495	69.4	374,495	69.4
浄化槽汚泥	132,079	22.0	132,681	22.7	133,227	23.4	153,446	27.2	160,698	28.2	163,541	29.3	167,052	30.3	164,596	30.5	164,596	30.5
下水道投入	0	0.0	469	0.1	18,992	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自家処理	1,714	0.3	1,455	0.2	1,193	0.2	996	0.2	878	0.2	924	0.2	1,083	0.2	755	0.1	755	0.1

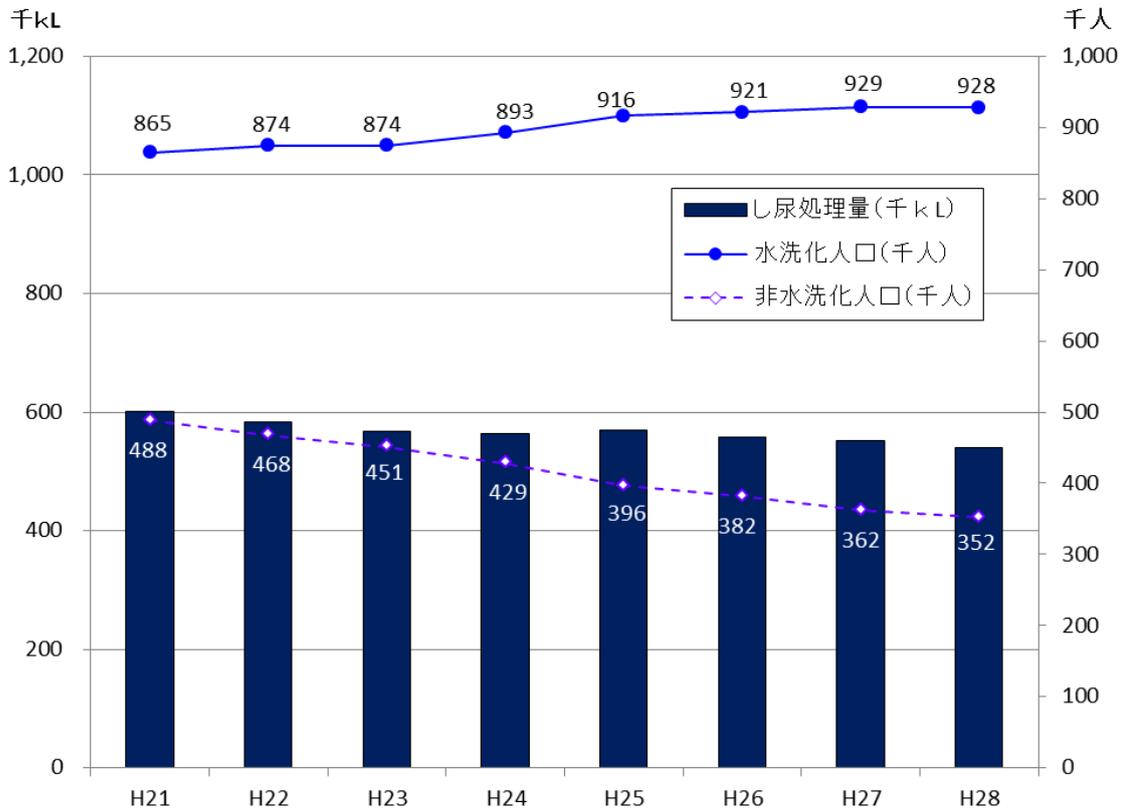


図-20 し尿処理量と水洗化人口・非水洗化人口の推移

(2) し尿処理体制

し尿の処理は、遠野市を除いて複数の市町村で構成された一部事務組合又は広域連合（以下「一部事務組合等」という。）が実施している。各一部事務組合等の処理量の推移は次のとおり。

表-17 し尿処理施設ごとの処理量

(単位:kL/年度)

一部事務組合・広域連合名	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
久慈広域連合	42,844	42,195	41,261	41,375	40,309	40,888	40,522	40,079
二戸地区広域行政事務組合	35,592	33,799	33,736	33,425	33,362	33,173	32,731	32,380
盛岡北部行政事務組合	37,464	36,802	35,515	34,886	33,924	32,481	31,897	30,885
盛岡地区衛生処理組合	43,587	42,168	40,674	40,161	40,436	38,769	38,688	37,347
紫波・稗貫衛生処理組合	41,155	40,049	38,980	36,997	38,475	35,829	35,645	34,876
北上地区広域行政組合	77,829	74,983	75,850	69,836	70,852	67,782	65,915	64,902
遠野市	20,028	19,128	19,903	20,130	19,866	19,429	18,573	17,999
奥州金ヶ崎行政事務組合	78,722	77,032	87,637	76,280	75,711	74,061	72,590	72,293
一関地区広域行政組合	91,258	88,949	93,279	88,025	88,505	84,900	82,444	81,259
宮古地区広域行政組合	51,776	51,263	50,380	48,906	48,906	50,113	50,260	49,589
気仙広域連合	49,476	46,193	3,954	47,291	49,002	50,531	52,137	49,208
釜石大槌地区行政事務組合	29,567	28,223	26,757	29,133	28,947	28,138	28,416	28,106
合計	599,298	580,784	547,926	566,445	568,295	556,094	549,818	538,923

## 2 し尿の処理経費

平成28年度に市町村及び一部事務組合等が、し尿処理に要した経費（市町村から一部事務組合等への分担金は除く。）は、48億円であった。このうち、処理施設や設備の建設・改良に要した経費は7億3千万円、処理及び維持管理費に要した経費は38億9千万円であった。

なお、県民一人当たり処理及び維持管理費は、年間11,085円であった。

表-18 し尿の処理経費の推移

費目	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
建設改良費(千円)	36,307	6,961	281,009	101,000	160,325	102,380	39,305	726,957
処理及び維持管理費(千円)	3,963,513	3,976,943	3,825,971	3,943,918	4,015,172	4,182,814	3,971,039	3,890,895
その他(千円)	101,223	178,721	96,954	109,338	98,311	88,585	212,072	180,048
合計(千円)	4,101,043	4,162,625	4,203,934	4,154,256	4,273,808	4,373,779	4,222,416	4,797,900
計画収集人口(人)	485,425	465,605	448,939	427,240	394,845	380,531	360,857	351,010
一人当たり処理及び維持管理費(円)	8,165	8,541	8,522	9,231	10,169	10,992	11,004	11,085